

第65回

～世界寺子屋運動20周年記念～

日本ユネスコ運動全国大会in横浜

大会テーマ **共に生きることを学ぶ**

日程:2009年11月7日(土)～8日(日)

～多文化との、自然との「共生」を問い直す～

会場:大さん橋ホール(横浜市)

初参加の全国大会。飛鳥・檀原ユネスコ協会からは7名の役員と会員が参加しました。

日本や東アジアの青年達による模擬国際会議では「教育と平和」について白熱した議論が交わされ、また、世界的オペラ歌手サ・イングアさん、黛 まどかさんらによるシンポジウム。文化人類学者 青木 保 氏の講演では日本文化の特色や外国の文化をどのように受け入れてきたかなどについての話がありました。

また、ユネスコ世界寺子屋運動20周年記念大会でもあり、寺子屋運動設立の経緯やこの20年間の歩みについて聞くことが出来、とても良い機会になりました。

会場から見た横浜ベイサイドの風景



知っていましたか？ 寺子屋運動のきっかけはあのポップの王様！！



来日時の様子

1987年マイケル・ジャクソンが来日した際、ユネスコに募金をしたいという連絡があったそうです。関係者はびっくり！この時の募金とジャクソン氏の想いが元となって識字教育事業への支援を検討、現在の世界寺子屋運動に繋がっています。

数あるNGO・ボランティア団体の中から「なぜ、ユネスコを選んだのか？」との問いにジャクソン氏は「ユネスコは持てる者が貧しい者に援助(gift や present)するのではなく、Co Action(対等のパートナーとして共に学び、共に生きる喜びを分かち合う)の活動をしているからだ」と答えたそうです。

ちなみにこの頃は『世界寺子屋運動』ではなく『コー・アクション活動』という名称でした。全国大会2日目のパネルディスカッションで寺子屋運動の歴史についてお話をされた尾花さんは上の写真でマイケル・ジャクソンと握手している方でした！

次回開催地挨拶

< 2010年 奈良県で全国大会が行われます！ >

来年9月25日(土)～26日(日)第66回日本ユネスコ運動全国大会が奈良で行われます。現在、県内5つのユネスコ協会から選出された実行委員が開催にむけて準備をすすめています。

全国大会in横浜では来年度のPRを行いました。万葉の古代衣装で大会テーマ「和をもって尊しとなす」の横断幕を掲げると、会場から歓声があがりました。また、平城遷都1300年祭キャラクターせんたくんも応援に駆けつけ、今大会一番のフラッシュを浴びていました。



奈良大会をPR